

清水泰先生古稀祝賀記念号刊行にあたって

本学名誉教授清水泰先生は、本年めでたく古稀の寿をお迎えになりました。その記念の特集号をここに刊行するを得ましたのは、本学会の至大の喜びとするところであります。

清水先生は、大正十四年京都帝国大学文学部文学科国文学専攻の業を終えられると直ぐ本学予科講師に御就任になり、爾来、昭和三十四年定年で御退職になるまで三十有四年、本学の歩みと共にして来られました。

本誌は、本学で先生のお教えを受けました者の数もようやく多く、自分らの研究誌をもちたいという気運のおのずから醸成され、先生の還暦を機に、その記念特集号をもって発足いたしました。その後五年、先生の定年御退職を記念して第二の特集号が刊行され、それから又五年、今度が三度目の記念特集号であります。

本誌は、先生が生みの親でいらっしゃるばかりでなく、先生の記念特集号を出します一区切り毎に、先生の御精神が浸透し、一段の展開を遂げたかの観があります。

先生は幸いにも、ますます御壮健で学問の道に精進しておられます。今後更に記念特集号の回を重ねて、先生と共に本誌の発展を期したいと願っております。

簡単にして意を尽しません、刊行の辞といたします。

昭和三十九年九月

立命館大学日本文学会